

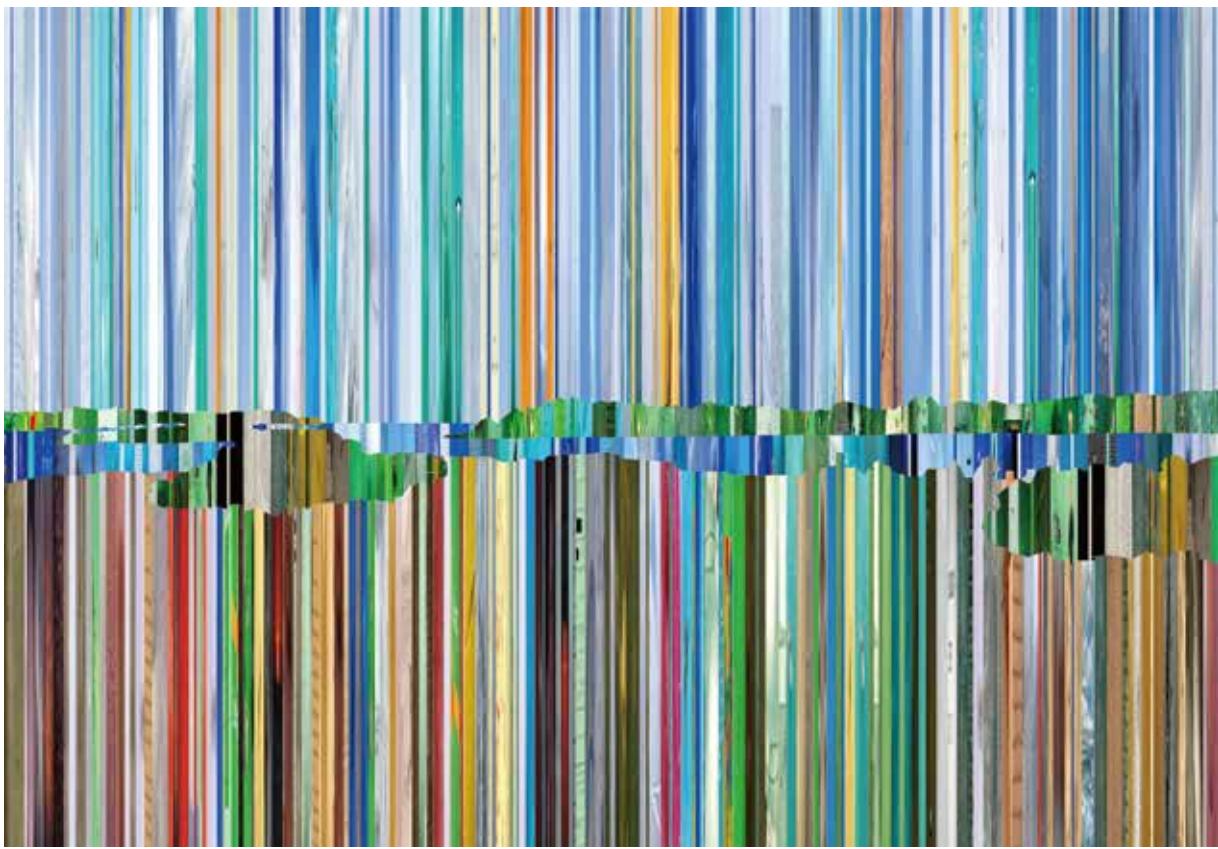
若手アーティスト支援プログラム Voyage2023

折田千秋展 コレクティブ・イメージ

釣舟富紀子 展 ROADSTEAD



《5類書架》(部分) 釣舟富紀子



©chiakiiorita

2023.7.15 ± - 9.3 日 塩竈市杉村惇美術館

開館時間 10 時～17 時 (最終受付 16 時 30 分) 月曜休館 (7/17 [月祝] は開館、翌日休館)

展示観覧料 (常設展込) : 一般 500 円 大学生・高校生 400 円 メンバーシップ・中学生以下無料 ※各種障がい者手帳を提示された方は割引。団体割引有。

問合せ : 塩竈市杉村惇美術館 (宮城県塩竈市本町 8-1 / 電話 022-362-2555 / <http://sugimurajun.shiomo.jp/>)

主催 : 塩竈市杉村惇美術館 共催 : 塩竈市 協力 : 志波彦神社・鹽竈神社 助成 : 公益財団法人カメイ社会教育振興財団 (仙台市)

後援 : 河北新報社 朝日新聞仙台総局 毎日新聞仙台支局 読売新聞東北総局 tbc 東北放送 仙台放送 ミヤギテレビ KHB 東日本放送 エフエム仙台 BAYWAVE78.1FM

ケーブルテレビマリネット 仙台リビング新聞社

本プログラム9回目を数える今回は、公募により選考された画家の釣舟富紀子と、現代美術作家の折田千秋をご紹介いたします。

釣舟は自身が幼少より慣れ親しむ塩竈や周辺地域の風景を題材に絵画を描いています。情緒あふれる懐かしい風景や現代社会に空想も織り交ぜて描かれたシリーズでは、一見ポップな描写でありながら密やかに潜在的なまちの姿を提示し、日常風景の深層に迫ります。一方、実存する古い建造物や風景を写実的に記録したシリーズは、東日本大震災以降、刻々と移ろう風景を描き残したいという思いを強くし、歴史や風土、自然界の細部を緻密にとらえ、風景に潜む気配をも描き出しています。作品の隅々まで目を凝らし、探検するように様々な発見をしながら、鑑賞者それぞれが“地域”に対するイメージを自由に広げていく機会になれば幸いです。

折田は「もの」と「ひと」の関係性を見つめ直し、その距離感や認知の違いを様々な手法で表現しています。本展では、これまで各地で展開してきたプロジェクト「コレクティブ・イメージ」=「印象の集合知」を、塩竈にゆかりある方々にご協力をいただきながら実施しています。人々が風景から感じる「印象の色」を媒介に、膨大な写真素材からコラージュし再構築した作品を通して、風景と人との関係性を「集合知」を切り口に問い合わせます。私たちは風景をどのように認識し、どのような影響を受けているのでしょうか。風景と作品とを行き来しながら、思考を巡らせる機会になれば幸いです。

両作家が、全く異なる視点、手法から塩竈という地域をとらえた作品を通して、私たちの身の回りにある日常風景にあらたな視点で目を向ける機会となることを願っています。

若手アーティスト支援プログラム「Voyage」は、これから活躍が期待される若手アーティストの可能性に光をあて、新たなステップを提供することを目的に、展覧会を中心としてトークやワークショップなど多様な表現の機会を設ける事業です。これまで、多くの人々にとって新たな才能や感性と出会える場となるよう毎年度ごとに異なる作家と共に取り組んできました。展示制作にかかる費用の一部のほか、企画や広報などに関する支援を通して、地域にゆかりのある若手アーティストの意欲的な表現活動をサポートし、発表の場を提供します。今年度の特別審査員は、石倉敏明氏（人類学者・秋田公立美術大学大学院准教授）、小田原のどか氏（彫刻家・評論家・出版社代表）、鹿野護氏（デザイナー・東北芸術工科大学教授）です。

関連企画

ギャラリートーク 釣舟富紀子・折田千秋

2023/7/15 国 14 時～(60分程度) 企画展示室 【要予約】



※要展示観覧料（メンバーシップ・中学生以下無料）。（定員15名）

作品解説等、作家によるギャラリートーク。

クロストーク

本江正茂（建築家、東北大学准教授）× 折田千秋（現代美術作家）

2023/7/16 国 14 時開演 (90分程度) 講習室 【要予約】



※要展示観覧料（メンバーシップ・中学生以下無料）。要予約

人と風景、人と空間などの関係性、その結びつきについて、多様な視点

で展示作品を読み解きながら語り合います。

もとえまさしげ
ゲスト 本江正茂氏

建築家、デザインファシリテータ。東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻准教授。宮城大学事業構想学群教授（兼務）。博士（環境学）。情報技術が拓く都市と建築の新しい使い方をデザインし、人々が持てる力を存分に発揮しあえる環境をつくりだすべく研究中。

ネオ塩竈まち歩き

2023/8/12 国 14 時 (120分程度) 美術館集合 【要予約】



参加費（保険料込）：一般 500円、メンバーシップ・中学生以下 300円

節足動物などの生き物の視点で、作品に描かれている場所を訪れるまち歩き。展示も観覧いただけます。

問合せ・申込み／塩竈市杉村惇美術館

宮城県塩竈市本町8-1 / ☎ 022-362-2555

<http://sugimurajun.shiomo.jp/>



《萩ヶ崎稻荷神社から見た本塩釜金駄》2021年（和紙、水干絵の具、岩絵の具）



《みなと祭2》2022年（アクリル絵の具）

釣舟富紀子／Fukiko Tsurifune
画家。1993年宮城県塩竈市出身・在住。京都精華大学マンガ学部マンガ学科卒業。幼少から親しんだ塩竈市内外の風景・建造物などをモチーフに、ファンタジー描写を加えた架空の地方都市のアクリル画群を制作している。また、日本画材では実在の古い建造物を中心とした絵を描く。2020年「第35回東北建築フォーラム 第14回東北の建築を描く展」大賞、2022年「第59回宮城県芸術祭絵画展（公募の部）」宮城県芸術協会賞受賞。



《Nakaminato》2021年



《Collective of COLOR / Some characters》2022年

折田千秋／Chiaki Orita
現代美術作家。1993年青森県十和田市出身。静岡文化芸術大学卒業、東北大学大学院工学研究科修了。建築学及びデザイン学を専攻し、人とのもの、人と空間などの関係性、その結びつきの多様性に注目。普遍的な日常をより詳細に見つめ、生活の一部、またはそれを構成するものを再認識することを目的に作品を制作している。「もの」と「ひと」の関係性を見つめ直し、その距離感や認知の違いを表現している。2020年写真GRANT「PITCH GRANT」、2021年「sanwa company art award」ファイナリスト選出。<http://chiakiorita.com/index.html>